



今号の表紙

消防団新入団員訓練

今年度入団された消防団員に対し消防団員の身分などの講義、基本動作などを実践し、消防団員としての第一歩を踏み出す訓練です。

2013.6.1
No. 144

町議会からKanieのあなたにお届け

がにえ
ほっと



CONTENTS 3月定例会・臨時会特集号

6月定例会の日程

4日(火) 開会
5日(水) 4日の予備日
7日(金) 常任委員会
13日(木) 代表質問
14日(金) 13日の予備日
19日(水) 最終日

※議事の都合により日程は変更になる場合があります。

※赤字の会議は傍聴することができます。

傍聴席は役場3階にあります。

【問い合わせ】議会事務局

電話(95)1111(代表) 内線301・302

5月臨時会

議長 高阪康彦 議員
副議長 山田新太郎 議員

12

役員改選



議員7人

いっぱん質問

町政を問う

4

当選議員の紹介

3

海部地区水防事務組合議会議員
上田喜久男氏の新任に同意

地域主権改革一括法に伴う
条例の制定・改正

2



特集

3月定例会の主な内容

地域主権改革一括法に伴う条例の制定・改正

海部地区水防事務組合議会議員

指名推選により選出

定例会の あらまし



25年3月定例会は、3月1日から18日までの会期で開きました。

▼1日(開会)

条例改正案、人事案件など、あわせて33件が提案説明され、そのうち、人事案件を可決しました。

▼6日(常任委員会)

総務民生・防災建設常任委員会が開かれ、議案16件の審査をしました。

▼11日(いっばん質問)

議員7人が、いっばん質問(9問)しました。

▼14日(予算審議)

平成25年度予算案(一般会計・特別会計・水道事業会計)に対し、活発な質疑が交わされました。

▼18日(閉会)

意見書案など5件が追加提案され、質疑・討論を行った後、すべての議案を可決し閉会しました。

条例制定・改正を審議

地域主権改革一括法に伴う 条例の制定・改正

(全員賛成)

地域主権改革一括法(正式名称・地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律)の成立により、国や県が今まで決めていた各種基準が条例に委任され、また、事務を執行する権限が移されたため、

新型インフルエンザ等対策本部条例の制定

(全員賛成)

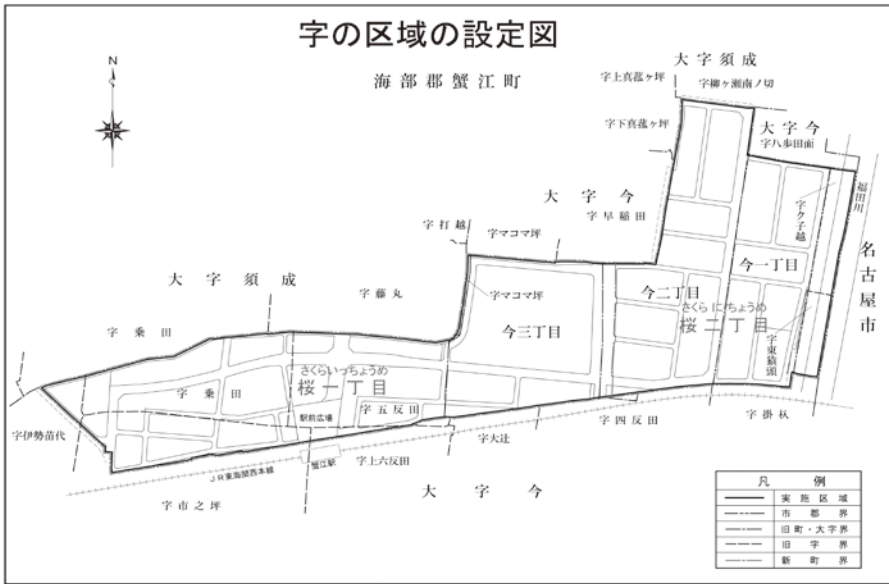
新型インフルエンザ等対策特別措置法の制定により、町対策本部に関する事項を定める必要があることから条例を制定するものです。鳥インフルエンザなどの新型インフルエンザが発生し、世界保健機関(WHO)の警戒

段階がフェーズ4(ヒトからヒトへの感染が増加していることの証拠がある)となり、国が新型インフルエンザ等対策本部が設置された場合には、町も対策本部を設置し、国や県と一体となって対策を講じます。

土地区画整理事業に伴う字の区域の設定

(全員賛成)

名古屋都市計画事業
告があつた日の翌日か
蟹江今駅北特定土地区
画整理事業の実施に伴
い、現在施行している
区域は、換地処分の方
目」とするものです。



人事案件を審議

【海部地区水防事務組合議会議員】

う え だ き く お

上田喜久男氏の新任に同意

(全員賛成)

渡邊吉郎氏が任期満
了(平成25年3月31日)
になるため、その後任
として上田喜久男氏
(舟入四丁目)の新任
に同意しました。
任期は4年です。

平成24年度補正予算を審議			
会 計 別	補 正 額	補正後の額	審議結果
一 般 会 計	3億3,837万5千円	93億2,965万2千円	全員賛成
特 別 会 計	国民健康保険事業	△5,167万円 35億8,407万9千円	全員賛成
	土地取得	1,340万9千円 1億9,343万9千円	全員賛成
	介護保険管理	△3,034万円 18億4,100万8千円	全員賛成
	公共下水道事業	△2億7,393万円 7億9,985万3千円	全員賛成
	後期高齢者医療保険事業	430万円 6億2,865万8千円	全員賛成

意見書を提出

※意見書の取り扱い

町議会では、全会派
一致で採択されたもの
だけが提出されること
になっています。

愛知県へ提出

◆愛知県の福祉医療制
度の存続・拡充を求め
る意見書
◆愛知県の第三子保育
料無料化事業費補助金
を継続・拡充する意見
書

国へ提出

◆「緊急事態基本法」
の早期制定を求める意
見書
◆安全・安心の医療・
介護実現のための夜勤
改善・大幅増員を求め
る意見書

議会議員補欠選挙当選議員の紹介

平成25年3月24日に執行されました、蟹江町議会議員補欠選挙において当選されました議員を紹介します。

任期は平成27年4月30日までです。



みずの とし み
水野智見

当選回数 1回
会 派 無会派
生 年 1958年生まれ
住 所 舟入一丁目

私は、住民・議会・行政の3者が一体となり、協働の精神のもと町の未来につながるプラスアルファの構築を、皆さまとともに取り組んでまいります。

7人が



町政を問う！

日程第1

「一般質問」を行います。

順次発言を許可します。

〇〇君、質問席へ



「いっぱん質問」とは、議員が執行機関（町や町教育委員会など）に対し、一般事務全般にわたっての執行状況や将来の方針などについて、事実の説明を求めたり、または所見をたずねることをいいます。

3月定例会では、7人がいっぱん質問に立ちました。

Q 町の歴史・文化教育を推進せよ！

石垣教育長

A 郷土に愛着・愛情を持つことにつながると思う

問 新旧の人々が町の歴史・文化を共有することにより人と人の絆、コミュニティ、郷土愛を深化することができると思う。住みたいまちづくりをするためにも歴史・文化の教育を小中学校でもっと推進すべきではないか。

石垣教育長 小学校では町の歴史に関する内容を取り入れた学習を行っているが、中学校では小学校に比べると余りできていない状況である。歴史や文化、先人の努力を学習することは、郷土に愛着・愛情を持つことにつながると思うので、今後さらに意識的に授業の

問 昨年の須成祭は愛知県知事、名古屋市長の見学、市バス乗り入れ等、対外的インパクトもあり効果があった。今年は将来を担う小学生を対象にバスを運行することはできないか。

石垣教育長 須成祭の見学は、家族の絆を深めていただくよい機会だと思う。観光事業として無料のシャトルバスが運行しているので、シャトルバスを利用し見学していただけるよう保護者の方に働きかけていきたい。



新生クラブ

とや ゆうじ 戸谷 裕治



▲国指定重要無形民俗文化財の須成祭



公明党 まつもと まさみ
松本 正美

Q 町民の健康対策を問う

A 横江町長 いろいろな施策を これからも推し進める

問 町民の生活習慣病の発症予防と健康管理が求められている。そこで①特定健診の受診率が目標に達していない対策を図れ。②保健指導の効果の内容を周知徹底せよ。

犬飼民生部次長 ①受診率向上のため特定健診を受診することの重要性を知っていただくよう努めていきたい。②個別通知を通じてより一層わかりやすく、利用しやすくなるよう工夫していきたい。

問 不育症の予防支援として、カウンセリング、相談窓口の開設、不育症の助成制度の導

入の考えはないか。

能島健康推進課長 専門窓口は専門家の確保等が難しいので、県の相談窓口を町ホームページ等で周知したい。助成制度については、今後の状況を見極めた上で対応を検討したい。

問 横江町長の3期目挑戦として、町民の安心・安全な健康づくり施策を示せ。

横江町長 健康診断、特定診断、がんチェック等、いろいろな施策をこれからも推し進めながら、住んで良かった、これからも住み続けたい、こんなまちづくりを考えていきたい。



▲特定健診受診率を向上せよ

Q 就労支援対策を図れ

松本正美議員②

A 寺西ふるさと振興課長 町商工会とも緊密な連携を図りたい

問 法改正に伴い、障がい者の就労支援対策が求められている。そこで①本町の障がい者の就労支援対策に取り組み。②障がい者の自立支援として、町役場内での臨時雇用で就労体験を図れ。

鈴木子育て推進課長 ①ハローワークや相談支援事業所等と協力し、就労相談や職場定着への支援、生活面での支



▲ハローワークとも協力し、就労支援対策を図れ

問 若者の自立支援として、相談や情報提供できる体制整備として「しごと相談室」を本庁舎内へ設置せよ。

寺西ふるさと振興課長 町単独で常設の相談

窓口を開設するのではなく、県と一体となつた相談窓口の設置や運営に携わるとともに、就職関連サービスの提供を行う施設の紹介に加え、町商工会とも緊密な連携を図りたい。

問 学校の児童生徒の成長に期待が持てるキャリア教育を進めよ。

石垣教育長 小中学校が連携し、児童生徒の労働観・職業観を育て、自立・成長へ繋げていくと同時に、専門的な知識や情報を持つている外部講師から直接学ぶ機会を増やし、学校と家庭・地域が一体となった取り組みを進めることが重要だと考えている。



こうさかやすひこ
清新 高阪 康彦

Q 事業の見直しは

A 横江町長 その準備を粛々と進めている

問 最近では聞かれなくなっているが、行財政改革に事業仕分けは不可欠である。以前、町は有識者を加えた事業仕分けを行うと答弁しているが、その後どうなっているのか。

横江町長 現在、集中改革プラン・行政改革実施計画に示した中身プラス支援事業も含め、団体の方に意見を聞くような提案を担当者にし、その準備を粛々と進めている。

問 昨年町民プールが廃止されたが、今年度はそれに代わる何かを考えているのか。

川合生涯学習課長 ケ

ーニーズより平成25年度から再度町民プールとして施設を利用してほしい旨の連絡があった。現在、事業内容の提案を受けて検討中であり、6月の全員協議会で報告したい。

問 町は商工会に補助金を交付している。その運用に対し指導、チェックはしているのか。

寺西ふるさと振興課長 商工会に対し補助事業についての注意事項等を文書にて通知し、実施商店街の代表にも出席を願い、ヒアリングを行っている。補助金請求についても厳密なチェックをしている。



▲平成23年度まで町民プールとして利用していたケーニーズ



▲旧佐藤化学跡地を取得できないか

問 本町地区の旧佐藤化学跡地が売却されたと聞いた。町はそれを公共用地として取得するつもりはないか。

横江町長 大きな工場の跡地は、必ず土壌の汚染が心配される。また土地を取得するということとは、皆様の貴重な税金を使うということであり、議員各位と

論議をしながら、これから前へ進めていかなければならないと理解している。事実をしつかり把握しつつ、話の進展があったら、また報告させていただき検討したいと思っている。

問 本町連合会から前述の土地の取得を求め、陳情書が出ている。

それによると「利用目的として冠水対策、緊急避難場所、蟹江保育所の園庭拡張、コミュニティセンターの建設用地等を考える。」とある。本町地区には必要なものであるが町の考えは。

横江町長 防災用の土地、保育所、児童館、高齢者の集まる場所、遊水地等、いろいろな利用勝手があると私自身も考えているので、しっかりと状況をつかみながら、きちんと話をする必要があると思う。

Q 本町地区に公共用地を

高阪康彦議員②

A

横江町長

また報告させていただき検討したい



新生
クラブ
いとう しゅんいち
伊藤 俊一

Q ヨシヅヤオープンに対する安全対策は！

A 水野産業建設部長
安全対策は図られていると理解している



▲ 4月にオープンしたヨシヅヤ
JR 蟹江駅前店

問 新ヨシヅヤの東、東郊線の信号はいつ設置できるのか。またヨシヅヤのオープンに当たり安全対策は万全と考えているのか。

水野産業建設部長 店舗北東の交差点に信号機を設置する考えで協議を進めているが、時期は不明である。安全対策は県の立地審議会に諮られ、意見なしとの回答なので図られていると理解している。

問 発看板やカラー舗装等の対策を検討したい。JRとの交渉に進展はないが、事前調整する事項の検討を行っており、さらに進んだ協議ができるよう努める。

問 JR 蟹江駅北の改札についての進捗は。またJRに調査費200万円を付けたが、その後の調査結果の進捗についての答弁を！

志治まちづくり推進課長 北口改札ではなく駅の南北を結ぶ自由通路の整備、駅橋上化も視野に入れた協議を進めている。調査は実施中であり、業務完了後内容を精査し報告したい。

Q 保育所の充実に用地の取得を！

A 河瀬副町長
本町地区に公共用地は必要と思っている



無会派
やまだ しんたろう
山田新太郎

問 名古屋市に隣接する市町村の最近10年間の人口は、19市町が増加している中で、蟹江町は10年間で448人しか増加していない。乳幼児がいる世帯を増加させるためにも、保育所の充実を図るべきである。

河瀬副町長 魅力ある蟹江町にし、人口を増加させるため、子育て支援センター増設、第二憩いの家、学童保育所を中心とした複合施設建設用地として、旧佐藤化学(株)跡地を購入せよ。

問 旧佐藤化学(株)跡地の購入交渉をするため、破産管財人に会われることを強く要望する。

河瀬副町長 本町地区の連合会の気持ちはよくわかっていて、再度、破産管財人を含めて協議し、その結果について報告させていただきます。

がある。本町地区に、公共用地は当然必要と思っている。今後状況を見ながら情報をつかみつつ協議をしていきたい。



▲ 蟹江保育所に隣接する
旧佐藤化学(株)跡地

Q 防災行政について問う

A 岡村安心安全課長
今後も研究をしていきたい

問 大きな災害には蟹江町だけでは対処できない。特に舟入地区は名古屋市と協力しお互いが利用できる避難所が建設できないか。

岡村安心安全課長 昨年6月に災害対策基本法が改正され、双方の協力のもと避難所が利用できるようになった。町民や名古屋市民が相

問 古い木造住宅が密集し生活道路も狭く消防車や救急車も通れない地域こそ、災害に強いまちづくりが早急に必要ではないか。

横江町長 都市計画マスタープランに記載されている計画を精査させていた。優先順位の高いところから、地権者の同意を得ながら進めていきたいという基本的な考えはずっと持ち続けている。

問 舟入の南部は避難所がない。津波等から逃げるための避難所が新設できないか。

岡村安心安全課長 地域の特性を加味し、津波タワー等が建設できないか等、今後も研究をしていきたい。

互に避難できるような蟹江川排水機場を避難場所指定するため、愛知県、名古屋市の相互協定を締結していきたい。



よしだ まさあき
吉田正昭



▲蟹江川排水機場を避難場所として指定できないか

Q 3・11の教訓

A 岡村安心安全課長
地域防災計画の全面見直しを検討したい

問 ①東南海等三連動地震予測で町は震度6弱から6強になり安全面で変わった点は。②飲料水の確保、食糧の備蓄は十分か。また家庭での備蓄の啓発は。③弥富市を参考に飲料水耐震タンクを日光川西と蟹江川東に造るべきではないか。

岡村安心安全課長 ①住宅の耐震化、家具転倒防止対策の推進を図りたい。②最低3日分食糧を備蓄するよう防災マップで周知し、防災学習会で啓発をしている。

問 避難場所が海抜0m以上及び津波予測の3m以上は何ヶ所確保できるのか。

岡村安心安全課長 該当する海抜の土地は皆無に等しいが、建物であれば該当する箇所はある。

問 簡易トイレの普及や備蓄は最重要である。町や各町内会にも補助率を上げ普及を進めよう。

岡村安心安全課長 地域防災計画の全面見直し等を踏まえ、検討したい。

市水道局とも連携を図る協定を締結する予定である。③今後段階を経て検討する。



おくだ のぶひろ
奥田信宏



▲弥富市役所十四山支所に設置してある飲料水耐震タンク

常任委員会の審査

総務 民生

指定地域密着型サービス事業者等の指定等に関する基準を定める条例の制定（全員賛成）

問 介護サービス事業者のサービスがきちんと行われているのかチェックしているのか。

佐藤民生部次長 それぞれの事業所から定期的に書面で報告があり、地域密着型の場合は、県、あるいは市町村独自で定期的に監査を行うこともあり、疑問な点については聞き取りを行う。

問 地域密着型サービス事業所の定員について、町民の要望・要求が叶えられているのか。
佐藤民生部次長 平成25年2月、施設に聞き取りをし、3事業所はほぼ満床であった。地域密着型は町内在住の

方しか利用できないので、その事業所に空きが出た場合は優先的に入所していただく。

問 要介護4・5の方で在宅にて老々介護をされている方の実態を把握しているのか。

佐藤民生部次長 居宅サービスを受けている方のうち、要介護4・5で老々介護をされている方は、推定ではあるが20～30人である。

問 地域密着型サービスの種類で、24時間対応訪問サービスや夜間対応型訪問介護サービスがあるが、町内の地域密着型サービス事業所は、現実これに対応しているのか。
佐藤民生部次長 町内ではやっていないが、そのようなサービスが必要な方には、担当しているケアマネージャーや関わりのある事業所が手を尽くして施設入所を勧める。

問 現在の訪問介護事業所が24時間対応訪問サービス、夜間対応型訪問介護サービスを組み込んだ場合、どのように事業所指定をするのか。

佐藤民生部次長 人員等の配置の問題や設備の問題、勤務状況等の計画が基準にあっているか審査をして、基準を満たしていれば指定することになる。

防災 建設

移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の制定（全員賛成）

問 はつらつ公園にトイレを整備する考えは。 **志治まちづくり推進課長** 平成25年度中に整備する予定である。

問 学戸公園の北側入口にスロープが無く、観閲式の準備等、関係車両が入られるように

ならないか。

志治まちづくり推進課長 学戸公園南側のトイレ付近には障がい者用のスロープがある。北西の角のところにも1箇所スロープが設けられてあり車両が入れる。

町道に設ける道路標識の寸法を定める条例の制定（全員賛成）

問 JR駅北の新しくできた道路には標識もカーブミラーも少ないように感じる。あの区域に信号機を設置する考えはないのか。

志治まちづくり推進課長 規制の標識は公安委員会が必要と認めれば設置されると思う。またカーブミラーは四つ角・T字路に設置するが、見通しが悪く危険だという地元からの要望に基づき、現地を確認した上で対応をする。また東郊線から東の街区の中は、信号機設置の計画はなく、藤丸中央線の交差点も要望は

していない。

問 東郊線と名阪側道の交差点は信号が短いため、ヨシヅヤの開店に伴い、東郊線の大渋滞が予想される。何か対策を考えているのか。

水野産業建設部長 信号機の時間を変えることは公安委員会の許可が必要である。当該地点はあま市内であるので、あま市と警察と一緒に検討しながら公安委員会へ働きかけをしていく。

移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例の制定（全員賛成）

問 今後この条例に準じて道路工事をしていくのか。

西川産業建設部次長 平成25年度以降、条例を準拠し、障がい者に優しい段差のない構造の歩道を作っていく。

問 既存の公園、道路も順次見直しをしてい

くのか。

水野産業建設部長 現段階では既存の公園、道路を条例で見直す計画はできていないが、障がい者に非常に危険であるということになれば、条例のあるなしに関わらず対応をしていく。

土地区画整理事業に伴う字の区域の設定（全員賛成）

問 桜という町名は地区の方々の意思で決められたのか。

志治まちづくり推進課長 蟹江今駅北特定土地区画整理組合の理事会で桜という新町名を提案いただいた。

問 町界町名に、藤丸団地も入るのか。

山本政策推進課長 町界町名設定事業においては、藤丸団地地区、須成柳瀬地区、区画整理を含む地区が1つのエリアとして設定されている。



平成25年度お散歩バスの路線変更等について

「ゼンギョ」とは、「議員全員協議会」の略称と呼ばれ、主に定例会の会期中に開かれている会議のことです。

この会議では、町が将来議決を予定される問題や議案として取り上げるにはなじまない重要な施策などについて、町側から報告を受け、議員はそれに対し自由に意見や要望をしています。

今回は、3月定例会で報告されたお散歩バスについてお知らせします。

○お散歩バスの運行便数・路線変更について

お散歩バスは町内移動の利便性を向上させる公共交通機関としての役割を担っており、平成24年7月には、より利用しやすく親しみやすい路線にするために、路線変更を行いました。利便性が向上した反面、福祉センターや福

祉センター分館への到着・出発時刻が同刻となり混乱を招く等、問題点も発生しました。乗務前後の点検整備に費やす時間の確保や、ヨシヅヤ蟹江店の移転による路線変更の要望を踏まえ、運行の安全確保、さらなる利便性の向上を図るため路線変更等を行うものです。

○変更内容

【運行便数の変更】

1日7便↓1日6便

※乗務前後の点検整備に費やす時間を確保し、事故防止に努めるためです。

【停留所の変更】

新設

・はつらつ公園前

・天王橋西

移設

・柳ヶ瀬

・藤丸中央通

・龍照院東

・学戸エコステーション東（旧中電変電所東）

名称変更

・新記念橋東（旧蟹江ハイツ北）

廃止

・ヨシヅヤ蟹江店

・信長街道神明社北

【改正日】

・平成25年7月1日

○新路線の実証運行について

昨年度、高齢者の社会参加や気軽に外出できる機会を作り、商業施設などの利用促進や地域の活性化を図るため、全町的な移動を可能とするコースの実証実験が行われました。平成25年度も昨年度に引き続き、一部コースの変更をして実証実験を行います。

○実験期間

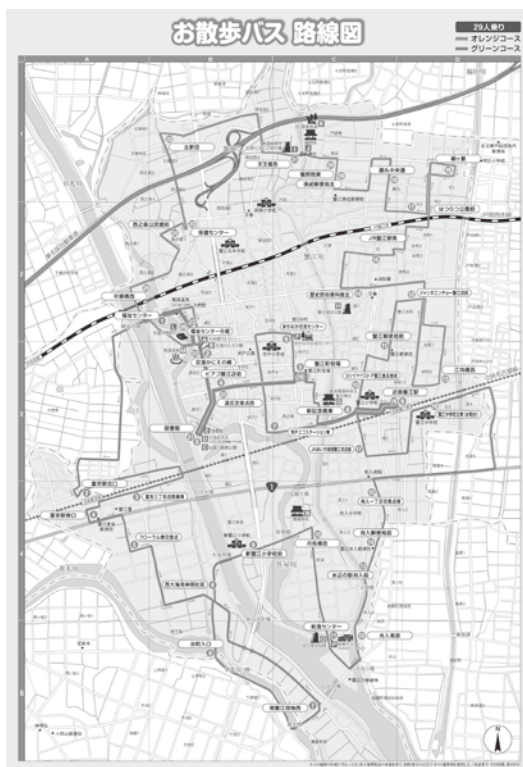
平成25年7月7日から12月15日までの毎週日曜日

報告に対する議員の意見・要望

○利用される方は便利かもしれないが、乗客がいないバスを見て何をやっているんだといわれる方も多い。

○同じ経費を使うのであれば、もっと有効な方法があるのではないか。

○交通弱者の事を考えるのであれば、タクシーを利用した実証実験はできないか。



▲変更後の路線図（上）と、実証実験コースの路線図（下）



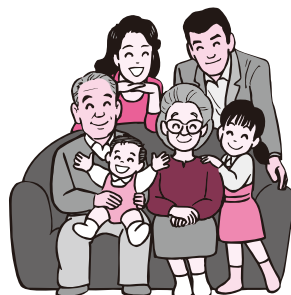
平成25年度

予算総額

会計別		予算額	審議結果
一般会計		85億233万6千円	全員賛成
特別会計	国民健康保険事業	35億1,544万2千円	全員賛成
	土地取得	1億8,005万4千円	全員賛成
	介護保険管理	18億9,912万2千円	全員賛成
	コミュニティ・プラント事業	757万8千円	全員賛成
	公共下水道事業	8億9,114万5千円	全員賛成
	後期高齢者医療保険事業	6億4,897万7千円	全員賛成
合計		156億4,465万4千円	
水道事業		8億8,860万6千円	全員賛成

平成25年度

予算 審議



平成25年度予算（一般会計、特別会計6件、水道事業会計）案を審議し、指摘事項や今後の行政運営への要望など活発に発言し、すべて原案どおり可決しました。
私たちが指摘・要望した事項の一部をお届けします。

問 安心・安全な蟹江町であるため、適材適所に防犯カメラの設置ができないか。

岡村安心安全課長 防犯カメラのある自動販売機の設置の話もあり、警察と協議の上、進めていきたい。

問 LED防犯灯の環境試験の結果は。

岡村安心安全課長 2年間試験灯する考えで設置を行っている。現状は明るい感じがしており、今のところは良好だと思ふ。

問 町名地番変更による消防や救急の出勤への影響は。

大橋消防署長 大字・小字が整理され町界が変わったため、非常に便利になった。

問 町界町名変更をする場合、法務局とはどう

のような調整を行うのか。

山本政策推進課長 名称が変わる約半年ほど前から、変更する各番地のデータを渡しチェックを行う。

問 自主防犯組織は何団体あるのか。また、保険の関係はどうなっているのか。

岡村安心安全課長 自主防犯組織は約25団体あるうちの15団体が実際に活動している。団体の啓発事業は町の保険に加入するが、自主啓発についてはそれぞれの団体に保険加入していただくことになる。

問 火葬場は将来的にどうする考えか。

横江町長 相手方の都合もあるが、本町斎苑、舟入斎苑2炉とも廃止をし、周辺の火葬場に委託をするという方法

の選択肢もあると考えている。

問 小型家電リサイクル法が施行されたが、小型家電リサイクルの取り組みはどのように考えているのか。

上田民生部次長 不燃ごみとして処理し、海部地区環境事務組合で直接職員が分類しているのが現状である。制度的にまだ確立されていないが、状況を見ながら対応していきたい。

問 ごみ集積場から勝手にごみを持っていく者や「小型家電無料回収」というチラシに対し、指導をしているのか。

上田民生部次長 集積場のごみは、町が収集する義務があるので、見つけた場合は必ず注意をする。また、チラシを入手した場合、一

般廃棄物処理法違反のケースが多いため、直接業者に注意・指導をしている。

問 いじめ・不登校対策推進事業の内容は。

鈴木教育部次長 いじめは外から見えにくいような形で行われるため、児童の発する危険信号を見逃さず、早期発見するための対策を講じながら、各学校において、その特色を活かした計画を立てて行っている。

問 飲料水耐震タンクを日光川西と蟹江川東に1箇所ずつ、海拔0m以上の場所に設置するべきではないか。

横江町長 町単体で設置となると、場所や規模、予算等の問題があるが、必要性は十分感じている。



議長
高阪康彦

5月10日、臨時会が開かれ、議長、副議長、委員長、委員などが新しく決まりました。任期は、申し合わせにより1年間です。



副議長
山田新太郎

総務民生常任委員会

総務部、民生部、教育委員会の所管に関する事項、他の常任委員会に属さない事項で、付託された案件などを審査・調査します。



委員長
吉田正昭



副委員長
佐藤 茂



松本正美



戸谷裕治



山田新太郎



菊地 久



高阪康彦

防災建設常任委員会

産業建設部、上下水道部、消防本部の所管に関する事項で、付託された案件などを審査・調査します。



委員長
黒川勝好



副委員長
安藤洋一



水野智見



伊藤俊一



中村英子



奥田信宏



大原龍彦

一部事務組合議会議員

海部地区急病診療所組合議会議員
吉田正昭
海部南部広域事務組合議会議員
松本正美 佐藤 茂
海部地区環境事務組合議会議員
菊地 久
海部地区水防事務組合議会議員
奥田信宏

監査委員

(議会選出)

伊藤俊一

議会運営委員会

会期の決定、議事日程など議会の運営に関することを協議します。

委員長
菊地 久

松本正美

中村英子

副委員長
吉田正昭

伊藤俊一

奥田信宏

議会広報編集委員会

議会だよりの発行、ホームページの掲載に関することを協議します。

委員長
松本正美

水野智見

佐藤 茂

副委員長
戸谷裕治

安藤洋一

黒川勝好

議席番号の紹介

- 1 番 松本正美
- 2 番 水野智見
- 3 番 戸谷裕治
- 4 番 安藤洋一
- 5 番 佐藤 茂
- 6 番 山田新太郎
- 7 番 伊藤俊一
- 8 番 中村英子
- 9 番 黒川勝好
- 10番 菊地 久
- 11番 奥田信宏
- 12番 吉田正昭
- 13番 高阪康彦
- 14番 大原龍彦

会派の紹介

清新 6 人
奥田信宏 大原龍彦
吉田正昭 高阪康彦
佐藤 茂 安藤洋一

21フォーラム 2 人
菊地 久 黒川勝好

公明党 1 人
松本正美

会派に属さない議員
水野智見
戸谷裕治
山田新太郎
伊藤俊一
中村英子

岩手県大槌町・宮城県釜石市を視察 東日本大震災からの教訓を学ぶ

21フォーラム・無会派

平成25年1月28日、29日、岩手県大槌町と釜石市を視察いたしました。

大槌町では、地震が来たため庁舎内は危険だと思い、役場前の駐車場に出て災害対策本部会合をしていたところ津波に襲われ、町長始め約40名が亡くなられたとのことでした。

釜石市では、防災センターに人々が避難したため、そこで多くの市民が被災したとのことでした。防災センターは避難場所ではなかったのです。これは釜石の悲劇と言われています。

この二つに共通した教訓は、平素安全だと思い込んでいた行動が、実は命を失うことにつながってしまったということです。ふたつの町はいずれも、今なお延々と建物の土台部分だけが残されているままで、復興といえる状況にはなっていませんでした。



▲大槌町佐々木課長(左)と